

事業所名 かるべの郷放課後等デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8 年

2 月

16 日

法人（事業所）理念		社会福祉法人かるべの郷福祉会は、高齢者や障害のある方が生き甲斐のある人生を送ることを支援し、地域に貢献します。					
支援方針		利用者様、ご家族様の思いに寄り添った支援を行います。 安心して楽しく通っていただける事業所を目指し、日々取り組んでいきます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	体温測定、気分体調の確認を行い、元気に活動して頂けるように支援します。 構造化を行い、視覚的にわかりやすいよう提示し、安心して過ごして頂けるよう支援します。 衣類の着脱、身だしなみなど日常生活上で必要な力を伸ばして頂けるよう支援します。					
	運動・感覚	感覚遊び、ピアノに合わせて体を動かす遊び、ボール遊び、指先を使った微細運動なども提供します。 フロア内にはキッズスペースやバスケットのゴールもあり、安全に楽しく体を動かせます。 小学校の体育館を借りたり、公園へお出かけを行うなどたくさん体を動かす機会の提供も行います。					
	認知・行動	一日の予定をわかりやすいよう提示し、時間の感覚を養い、時間に合わせて活動ができるよう支援します。 外出を行い、季節の変化を感じてもらい感性形成を促して行きます。 ブロック、粘土遊びなど、空間把握の認知形成を促して行きます。					
	言語 コミュニケーション	文字、絵カード、コミュニケーションボードなど様々な方法でコミュニケーションをとれるよう支援を行います。 朝の会、帰りの会を行い、皆で話をする機会を設け言語表出を促して行きます。 利用者様の思いを尊重し、自ら決定していく力を養って頂けるよう支援を行います。					
	人間関係 社会性	集団での活動を通して、他者と関わる際のルールや社会性を身に付けて頂けるよう支援します。 地域のイベントなどを通して、地域との交流の機会を設けます。					
家族支援		ご家族からの相談に対し、助言・アドバイスを行います。			移行支援		ご家族の同意の元、関係各所と連携を行いスムーズな移行を支援します。 放デイ卒業後の進路など、ライフステージの移行に伴う支援会議にも積極的に参加し、連携を行います。
地域支援・地域連携		地域のイベントなどにも参加し、地域との交流の機会を設けます。			職員の質の向上		法人内外の研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めます。
主な行事等		季節の行事、外出、カレー作り、BBQ、お菓子作り体験など					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かるべの郷放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 1日		～ 令和 7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 1日		～ 令和 7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	人員配置の充実。	配置基準以上の職員を配置し、支援面、安全面でも安心してご利用していただけるよう取り組んでいる。	今後も安心して利用して頂くために、職員研修などにもより力を入れていく。
2	支援内容の工夫。	フロア内、屋外での活動や、定期的な外出行事、学校の体育館を借りての活動など様々な工夫を行い、楽しんで利用して頂けるよう取り組んでいる。	ご利用者、保護者様の意向に沿いながらも飽きずに利用して頂けるよう取り組んでいく。
3	学校、担当相談支援専門員などの関係機関との連携。	担当相談支援専門員との積極的な連携を図り、情報の交換を行っている。オープンスクールなどに参加し学校での本人の様子を知るとともに、先生との情報の交換も行っている。	各関係機関と密な連携を図るため、勉強会や研修会を行った。放課後等デイサービス事業者が集まった勉強会なども検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣地域との連携が弱い。	事業所として近隣との交流が少なく、方法も難しい。	市や他事業所などに助言してもらいながら取り組んでいく。
2	ペアレントトレーニングや、ご家族へ向けての研修ができていない。	個別での対応は行っているが、研修会などが行えておらず、時間、人材などの課題がある。	人材育成や、研修会などを行える体制づくりに取り組んでいく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	かるへの郷放課後等デイサービス				公表日	令和8年2月16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	不穏になった時や個別のケアが必要な時に使える部屋がもう一つあれば良いと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		配置基準以上の職員を配置している。	今後も十分なスタッフを確保できるよう努めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		おもちゃなどは絵カードを使い提示できるようにしている。 集中して個別活動に取り組める場所も用意している。	個々に合わせ、わかりやすく構造化ができるよう常に改善を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		椅子が大きければジュニアシートなどを使い高さを調整している。	今後も継続して行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	静養室、別室もある。	個別での対応もできるようになっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎朝ミーティングを行い振り返りをしている。	意見の出しやすい職場環境を作っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		集計後みなで会議を行い検討している。	今後も継続して行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	個別に面談を行っている。 意見を離しやすい環境である。	今後も継続して行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者評価は行っていない。	必要に応じて随時行っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		障がいの枠以外で子どもに関わる支援者向けの研修があれば参加したい。	障がい分野以外での研修も取り入れられるようにしていく。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			今後も継続して行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			今後も本人、保護者の意向を大切に、計画の作成に努めていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			今後も本人、保護者の意向を大切に、計画の作成に努めていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		「はい」だが認識しづらい部分もある。	職員間での情報の共有をより密に行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		定期的なモニタリング、ケース記録による日々の行動観察を行っている。	今後も継続して行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			今後も継続して行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		イベント、日々の活動などもチームで検討、立案している。	今後も継続して行っていく。

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		イベント、日々の活動などもチームで検討、立案している。 毎日同じような活動にならないよう、話し合いながら工夫している。 外出行事、季節のイベントなども行っている。	常に新しい取り組みを考えながら、工夫を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			今後も継続して行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎日のミーティングで行っている。	今後も継続して行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		気づいたことがあればすぐに共有するようにしている。	今後も継続して行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	時間がなくケースを打てない時がある。	ケース記録を行う時間が取れるよう業務の見直しを行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			今後も継続して行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	地域交流があまりできていない。	地域交流の機会を増やしていけるよう取り組んでいく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			今後も継続して行っていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的には児童発達支援管理責任者を現場スタッフに参加している。	今後も継続して行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	社会福祉課、子育て応援課など様々な機関と連携を取り支援を行っている。	より密に連携をとれるように努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校から行事予定表をもらい下校時間の確認を行っている。変更時には連絡をいただけるように伝えている。	より密に連携をとれるように努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要時には情報の共有を行っている。	今後も継続して行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要時には情報の共有を行っている。	今後も継続して行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	センターとの連携はできていない。	必要に応じて随時行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	地位の公園へ出かけるなどの交流は行っている。	今後も継続して行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		管理者が参加している。	今後も継続して参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳LINEで日々の様子をお伝えし、保護者との意見交換を行っている。	今後もわかりやすいよう、保護者様へお伝えしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		家族からの相談は個別に応じている。	随時対応を行っていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時、計画更新時、利用者負担額の変更時には必ず説明を行っている。	丁寧な説明を心がけていく。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		本人、保護者と話し、計画を作成している。	今後も本人、保護者の思いを大切に、支援計画を作成していく。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		説明を行ったうえで同意を得てサインをいただいている。	丁寧な説明を心がけていく。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があれば個別に対応を行っている。	随時対応を行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	保護者会は実施していない。	必要性に応じて検討を行っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情対応窓口を設け、苦情があった際は迅速に対応を行っている。	迅速に対応を行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月活動報告を作成しお配りしている。	今後も継続して行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分に注意している。	今後も継続して行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	伝え方を工夫している。言葉でのコミュニケーションに任せた支援になりがち。	本人にわかりやすい方法を常に検討し、お伝えできるようにしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	法人敷地内で地区の祭りを行っている。	今後も継続して行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは作成している。訓練も行っている。	今後も継続して行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画は作成済み。訓練も行っている。	今後も継続して行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		個人的に把握ができていない。	職員全員が把握できるよう努めていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に必ず確認を行っている。もし症状が出た時の対応が把握できていない。	職員全員が把握できるよう努めていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		十分に安全管理を行い、必要な訓練も行っている。	今後も継続して行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		災害時の避難場所や、避難経路などをハザードマップを見ながら保護者に説明を行っている。	今後も継続して行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録後、検討を行っている。	今後も継続して行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		毎月の会議で行っている。	今後も継続して行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	現在身体拘束は行っていない。	必要時にはしっかりと検討、説明を行っていく。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		かるべの郷放課後等デイサービス				公表日	令和8年2月16日		
		利用児童数		35名(兄弟含)		回収数		25	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25					限られたスペースを有効に活用でき、安全面にも注意しながら環境を整えていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		4		人員配置基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25				午前中に丁寧に掃除されている姿をみてすごいなあと思いました。	清掃、消毒などを徹底し心地いい環境を整備していきます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				必要に応じた対応をしてもらっています。	本人、保護者様のご意向を踏まえ個々に合わせた、支援を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		1		1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25				本人のペースに合わせた利用ができ大変助かっています。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		1				今後も継続して行っていきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1			定期的に外出を計画して頂き、いつもともうれしく思います。	個々に応じて様々な工夫を行っていきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6		15		必要に応じて検討を行っていきます。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					計画作成時にはできるだけわかりやすく説明を行います。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	6	1	10		必要に応じて検討を行っていきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25					活動の内容やご利用者の様子ができるだけわかりやすいよう写真や動画を活用していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25					個別に対応を行っています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	2	13		検討を行います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			2		個々の相談にも随時対応を行っていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。		1		1	いつも写真や通信を楽しく見せていただいています。	楽しんでみていただけるよう毎月の通信や、写真も継続して行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		5		マニュアルは作成済みであるが、周知が不十分であるので、しっかりと周知していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		7	避難訓練にも参加させていただきありがとうございます。	訓練を行ってはいるが周知が不十分であるので、しっかりと周知していきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		3		事故などが発生した場合は迅速な対応を心がけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			全く嫌がる様子がないので安心して通っていると思います。	安心して通っていただけるよう、様々な工夫を行っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				夏休みの時はかるべに行くとのびのび遊んだりできるので楽しみにしています。	より楽しんで通っていただけるよう、工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1			なじみのお友達や話の合う職員さんとお出会いすることができ、コミュニケーションも学べていい刺激になっています。どんな時でも対応が丁寧で大変満足しています。他市では事業所の閉鎖もありやはり不安があります。	